

園だより 6月号



YMCA オリーブ保育園

2022年6月1日 発行

園長 矢野久美

今月のねがい

- * 讃美歌やお祈りのことばに触れ心地よく過ごす
- * 絵本やお話を通して、豊かな言葉に出会う

今月の讃美歌

- * ぱらぱらおちる

雨上がりの園庭で、大きな水たまりを見つけ、嬉しそうに素足で遊ぶこどもたち。瞳を輝かせ、夢中になっている姿を見るのは、保育者にとってこれほど幸せな事はありません。憂鬱な雨も子どもたちにとっては、こんなにも素敵な遊び道具になると思うと、自然に無駄はないのだと感じます。



先日、玄関に掛けてある大きな時計を見ていた5歳児クラスの男の子が、『あの3本目の針は何?』と聞いてきました。秒針の事だと分かったので『この3本目の針が一周すると、この長い針が1分進むんだよ』と答えると、『そーなんだ!うちにある時計には3本目の針ないからさ』と言って、すっきりした様子で園庭に出ていきました。デジタル化が進み、分かりやすく便利になる程、好奇心の芽も削がれていってしまうのかな、とふと感じました。子どもたちは大人が当たり前になってしまった事ほど、何故そうになっているのかを知りたがっています。原点や原理を知りたいと興味を持つところから学びが始まり、成長に繋がっていくのですね。大人ももう一度子どもの『何故』に興味を持ち、子どもの世界感に連れて行ってもらうと、まだまだ新たな発見がたくさんあると思う瞬間でした。

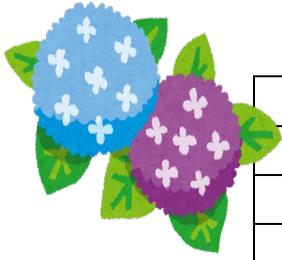
5月28日(土)にYMCAのチャイルドケア事業の全体研修会が行われました。コロナ禍の為、各施設をリモートで繋ぎ200名ほどが参加する中で、星野副総主事がYMCAの理念と、私たちの使命を講演しました。YMCAは約180年前に社会を良くしたいと願うひとりの青年の祈りから始まり、それに賛同した12名の若者の運動からやがて団体となり、今では世界中に広がりました。研修はYMCAの理念に基づいて、各施設ごとに、これからの保育についての話し合いをしました。語り合う保育者や調理員たちの瞳はキラキラと輝き、それは水たまりで夢中で遊ぶ子どもたちの瞳と重なりました。これからも『ひとりがよくなると世界はきっとよくなる』『認め合い、高め合うポジティブネットのある豊かな社会を創る』というYMCAのスピリットと、愛と奉仕のキリスト教の精神を胸に抱き、研修での学びを日々の保育に生かしていきたいと思えます。



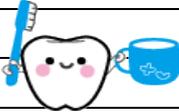
山中湖キャンプについてのお知らせ



7/8(金)~9(土)でさくら組の山中湖キャンプを行う予定です。感染対策を講じながら、本年度は決行する予定です。詳細はさくら組に別途お知らせいたします。



6月のスケジュール

日	曜日	行事
1日	水	体操 4・5歳
7日	火	英語 4・5歳
8日	水	歯科健診 
9日	木	礼拝 さくら組 乳児身体測定
10日	金	幼児身体測定
14日	火	英語 2・3歳
15日	水	体操 3歳
17日	金	内科健診・眼科健診
21日	火	英語 4・5歳
22日	水	体操 4・5歳
28日	火	英語 2・3歳

※避難訓練は 23日・24日に行います



《 お知らせ・お願い 》

- ◎登園時、お子さんの受け入れの際に健康カードでの健康チェックを実施しております。引き続き、ご自宅にて朝の体温を必ず測ってご記入ください。
- ◎登園後の体調の変化（発熱、咳、鼻水などだけでなく食欲、機嫌、顔色なども含みます）があった場合は、念のためご連絡いたします。必ず連絡が取れるようお願いいたします。また発熱の場合は、速やかなお迎えをお願いいたします。
- ◎発熱後、解熱してから 24 時間は検温をしていただきながら、必ずご自宅にて様子を見ていただきますようよろしくお願いいたします。

保育園内で新型コロナウイルス罹患者が確認された場合、区保健所による濃厚接触者の判断を踏まえ、必要に応じて臨時休園やクラス閉鎖を行う場合があります。その際はフェアキャストでのご連絡となります。

新型コロナウイルスが未だ収束しない中での保育となりますが、引き続き感染対策のご協力をお願いいたします。保育園では密が避けられない状態での保育となりますが、出来る限りの配慮をしながら、子どもたちが安心して過ごせるよう最善を尽くして参ります。

引き続き皆さまのご協力をお願いいたします。

